

# 名鉄病院newsletter

平成23年 春号



## ごあいさつ

名鉄病院 病院長 細井 延行

新緑の候、新年度から早1か月が経ちましたが皆様如何お過ごしでしょうか。

3月11日午後発生した東日本大震災に付きましては、皆様ご承知の通り甚大な被害が発生し、被災された方々また関係者の皆様にはお見舞い申し上げると同時に一刻も早い復興を心から願っております。

新年度にあたり、名鉄病院ニュースレターを通しましてご挨拶申し上げます。

平成22年度も、地域の先生方には多数の患者様をご紹介いただきありがとうございました。平成18年度に新たに地域医療連携室を開設して以来、右肩上がりにご紹介していただく患者様が増え、これもひとえに地域の連携医の皆様のお陰と病院スタッフ一同感謝しております。また昨年は済生会病院への事業譲渡の問題で皆様方には多大なご心配とご不安をおかけして申し訳ありませんでした。この問題に付きましては、先方と合意に至らず、このほど協議を中止することとなりました。名鉄病院は、これまでと同様に名古屋鉄道の健康保険組合立病院として継続いたしますので、今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。なお、この4月からは済生会病院から循環器内科の野田先生を副院長として、また市原先生を総合内科部長としてお迎えいたしました。病院スタッフ一同、ニュー名鉄病院として益々地域医療に貢献いたす所存であります。

これからも変わらず先生方のご支援をお願い申し上げます。

# 消化器内科の紹介

消化器内科部長 杉原 眞

当科では、胃・十二指腸潰瘍、胃癌、大腸ポリープ、大腸癌、潰瘍性大腸炎、肝炎、胆石、膵炎など消化器疾患全般にわたる診療を行っています。

消化器内科では特に画像診断が非常に重要で、当院では高解像度ハイビジョン内視鏡装置、フラットパネルデジタルX線透視装置、64列Multi-detector CT装置、1.5T超伝導MRI装置、最新の超音波装置を導入しており、高レベルの診断を行っています。正確な診断、適切な治療を行うために外科専門医、放射線科専門医、病理専門医と定期的にカンファランスを行い、協力しあいながらチーム医療を行っています。

また、地域連携も積極的に行っており、診療所の先生方とも定期的に勉強会を開催し、緊密な連携をとっており、たくさんの患者さんを紹介していただいています。

なお、当院は日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器がん検診学会、日本肝臓学会の認定指導施設です。消化器内科志望の若い医師が専門医の資格を取りやすくなっています。

## <Ⅰ. 消化器内科スタッフ>

名古屋大学消化器内科の支援により常時5名の医師が勤務しています。

杉原 眞部長、西尾雄司部長、大菅雅宏部長のベテラン医師と、渡邊晶子医師に代わり昨年10月より荒川恭宏医師が、側島 友医師に代わり今年4月より安田真理子医師が赴任しました。それぞれ経験豊かな医師で、全員で検査・診断・治療に当たっています。

## <Ⅱ. 消化器内科の特徴>

### ①消化管（胃腸）疾患

消化管の早期癌の早期発見、内視鏡治療を積極的に行っており、NBI併用拡大内視鏡検査による画像強調観察により正確な診断を行っています。治療ではITナイフを使用した早期胃癌の内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）にも取り組んでいます。

胃十二指腸潰瘍出血に対する内視鏡的止血術（クリップ法、局注法、アルゴンプラズマ凝固法）、食道静脈瘤破裂に対する内視鏡的結紮術などの緊急にも対応しています。

名古屋大学消化器内科消化管グループの協力によりカプセル内視鏡も行っています。

経鼻内視鏡検査や二酸化炭素ガスを用いた内視鏡検査など患者さんに苦痛の少ない、安心・安全な検査治療を行っています。

炎症性腸疾患に関しては潰瘍性大腸炎に対する顆粒球除去療法、白血球除去療法を、クローン病に対しては粘膜治癒と寛解維持を目指した生物学的製剤、抗TNF- $\alpha$ 抗体療法などを行っています。今後中心的治療法となると考えられます。

### ②肝疾患

C型慢性肝炎に対しては、現在ウイルス除去を目的としたペグインターフェロン・リバビリン併用療法が標準治療で、良好な成績を得ています。

また、難治性の高ウイルス量C型肝炎に対して二重膜ろ過血漿交換ウイルス除去療法を併用した治療も行っています。

さらに、名古屋大学消化器内科肝臓グループと協力してC型肝炎ウイルス遺伝子型・変異、宿主側因子のIL28B遺伝子多型などの治療効果の予測の検討も行っています。

B型慢性肝炎に対する核酸アナログ製剤（バラクルード）による抗ウイルス療法を行っています。

### ③胆膵疾患

内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）関連手技として、内視鏡的十二指腸乳頭切開術・乳頭バルーン拡張術、閉塞性黄疸に対して胆道ドレナージ術（ERBD, ENBD）、悪性胆道狭窄に対して胆管ステント留置術（メタリックステント）、胆管結石砕石・排石術を行っています。

消化器疾患全般に対して診療所の先生のご要望に十分応えられますので沢山の患者さんのご紹介をお願いします。



上段 荒川医師 久保田研修医 安田医師  
下段 大菅部長 杉原部長 西尾部長



## 5C病棟の紹介



5C病棟は5月11日から主としてこれまでの神経内科疾患患者と新たに内分泌科疾患患者を受け入れる病棟に生まれ変わりました。病床数は47床、スタッフは神経内科医師3名、内分泌科医師3名、看護師は今年新たに6名の新人看護師が仲間に加わり、パート看護師を含め31名、ヘルパー1名、看護補助者2名、医療事務1名です。入院患者さんの特徴としては、脳梗塞、パーキンソン症候群、多発性硬化症など運動障害により日常生活に支障をきたしている方やめまい症で思うようにベッドから起き上がることができない方が多くみえます。そのため、看護師をはじめ、ヘルパーや看護補助者と力を合わせ、食事・排泄・更衣・清潔の援助を安全、安楽に心がけ提供しています。また、80歳代後半～90歳代の患者さんも多く、点滴治療の必要性や入院していること自体が理解できない認知症を患っている方も少なくありません。



しかし、その理解度を非難することなく受け止め、その方の人権を尊重し、共に病と闘うという想いを大切に接しています。そして何よりその患者さんを私たち以上に大切に思っている家族の方とも積極的に関わっています。神経内科疾患の代表でもある脳梗塞は、急に発症し、麻痺や言語障害などの症状が後遺症となり、残りの人生をその後遺症と共に歩んでいかなければなりません。その苦しみや不安は、患者さんだけでなく患者さんを一番近くで支えている家族にとっても計り知れないものです。その現実を受け止め、少しでも前向きに笑顔で過ごすことが出来るよう入院当初より家族を含めた精神的援助が必要です。主治医を含め、理学療法士やソーシャルワーカーと連携を取り、退院後に最もその方らしい生活ができるよう退院支援にも力を入れています。

また、今回新たに内分泌科疾患の患者の受け入れを行うようになりました。主に糖尿病の血糖コントロールや生活習慣の見直しをはじめとする教育入院目的の患者さんと接することとなります。今までのその方の生活習慣をあらゆる面から情報収集し、患者さんと共に改善する点を見つけ、退院後も習慣づけられるよう関わっていきたいと思います。



5C病棟は、医師を含め、スタッフみなが明るく笑顔の絶えない病棟です。入院中はなかなか季節の移り変わりを感じる事が出来ませんが、私たちスタッフの笑顔とともに、ナースステーションの窓口とデイルームにささやかですが、四季を感じる事が出来る飾りをして、患者さんや家族の方々の笑顔と出会えるよう頑張っています。



# 新しく赴任した医師のご紹介

## <副院長に就任しました>

### 野田 省二（循環器内科）

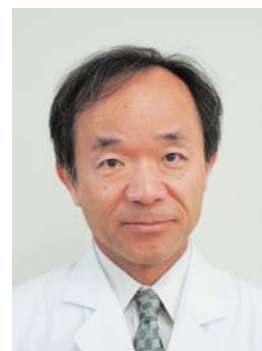
19年間勤務した愛知県済生会病院を3月に辞し、4月から名鉄病院で働かせていただくことになりました。名古屋市西区および近隣地域の先生には医療連携・循環器カンファレンス等の勉強会・その他で引き続きお世話になります。今後は西区で内科系として唯一の急性期病院となった当院で、より充実した病診・病病連携をめざして努力していく所存です。引き続きよろしくお願い申し上げます。



## <総合内科部長>

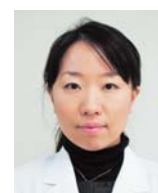
### 市原 義雄

皆さんよろしく、市原です。野田先生と共に愛知県済生会病院から参りました。感染症を除く全死亡の危険因子には、高血圧、喫煙、高血糖、運動不足、肥満が挙げられています。いずれも生活習慣に深くかかわる要因です。医療には健康実践教育も必要と考えています。



### ■ 黒土 愛（眼科）

大学病院より赴任になりました。来てすぐ駅と直結していることに驚きましたが、多方面から受診される方がいらっしゃると思いますので、幅広い分野に対応できるよう努力しますのでよろしくお願いいたします。



### ■ 安田 真理子（消化器内科）

消化器内科に赴任した安田です。患者様に優しく、負担のない検査をしていただけるように、日々精進していきますのでよろしくお願いいたします。



### ■ 野木森 めぐみ（皮膚科）

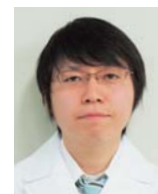
H18年卒で、昨年まで名大病院で勤務しておりました。名古屋市内の一般病院で常勤で働くのは初めてなので、システムに不慣れな点もあり、皆様に御迷惑おかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願い致します。



## 新しく赴任した医師のご紹介

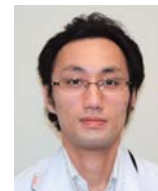
### ■ 岡田 学（外科）

4月から外科で働かせていただくことになりました。まだまだ未熟でわからないことも多くありますが、お役に立てるようがんばっていきます。よろしくお願いいたします。



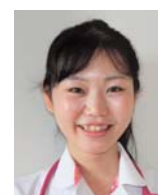
### ■ 田代 詳（総合内科）

2年間名鉄病院で初期研修でお世話になった田代詳と申します。この4月から引き続き名鉄病院で勤務させていただくことになりました。未熟者ゆえご迷惑をおかけすることもあると思いますが、宜しくお願い致します。



### ■ 鈴木 水鳥（小児科）

初期研修に続き小児科医として名鉄病院に残らせて頂くことになりました。忙しい時こそ一つ一つ丁寧に仕事をする様努めたいと思います。初心を忘れず頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。



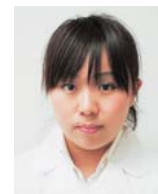
### ■ 怡土 加奈代（小児科）

2年間の研修を終了し、4月から小児科で働かせていただいています。まだまだ未熟であり、たくさんの先生方にご迷惑をおかけしていますが、少しずつ成長していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



### ■ 久保田 真由美（研修医）

山口大学を卒業し、4月から名鉄病院で研修医として勤務させていただくことになりました。まだ何もわからず、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、精一杯頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



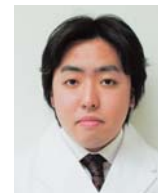
### ■ 大橋 知明（研修医）

高知大学を卒業後、名鉄病院にて初期研修をさせて頂いております。出身は名古屋市です。早く役に立てるよう一生懸命頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



### ■ 服部 正典（研修医）

4月より研修医として勤務させて頂くことになりました。好きな言葉は「いかなる逆境においても、ただ良心に恥じぬということが我々のすべてだ」です。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



### ■ 櫻井 映子（研修医）

藤田保健衛生大学を卒業し、4月から研修をさせて頂くことになりました。生まれも育ちも岐阜です。現在は、名鉄病院から車で10分の所に住んでいます。精一杯頑張りたいのでよろしくお願いいたします。



## 新しく赴任した医師のご紹介

### ■ 八木 孝雄（研修医）

4月から名鉄病院で研修させて頂くことになりました、八木孝雄です。分からない事ばかりで、不安も大きいですが、少しでも早く先生方のお役に立てるよう頑張っていきます。宜しくお願い致します。



### ■ 柳田 佳史（研修医）

4月より名鉄病院で初期研修をさせて頂くことになりました。至らない点が多く、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



### ■ 山本 晋平（研修医）

三重大学を卒業し、4月より名鉄病院で初期研修をさせて頂く山本です。至らない点が多いかとは思いますが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



## 連携室より一言

5月から、病棟の再編成をおこないました。3号館3F病棟はこれまで婦人科を中心とする女性病棟でしたが、これを男女共用とし、外科、婦人科を中心とする病棟としました。これにともない、下記のように他診療科についても主たる病棟を一部変更し、効率化をはかりました。もちろん、これまでどおり入院が必要な患者さんがある場合は、この原則にとらわれず、あいた病棟に入院していただきますので、満床のため入院をおことわりすることはないと考えております。

病棟	主科
1号館	3C 脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科
	4C 消化器内科・血液内科
	無菌 血液内科
	5C 神経内科・内分泌代謝科・(血液内科)
2号館	4E 総合内科・循環器内科
	5E 全科
3号館	2F 整形外科・耳鼻咽喉科・(外科)
	3F 外科・婦人科
	4F 小児科・(外科・血液内科)

(地域医療連携室長 佐尾 浩)

名鉄病院 医療支援センター 地域医療連携室  
 〒451-8511 名古屋市西区栄生2-26-11  
 TEL.052-551-6121(代) 052-586-5755(連携室) FAX.052-586-5756  
 URL : <http://www.meitetsu-hospital.jp/>  
 (表紙写真撮影 地域医療連携室 古澤 敦子)